

## 骨髄バンクのキャンペーンに、 アンディ・フグさん起用のお知らせ

公共広告機構（ＡＣ）の骨髄バンクキャンペーンＣＭに、今年８月２４日、急性白血病（急性前骨髄球性白血病）のため亡くなった、格闘技「Ｋ－１」の元王者、故アンディ・フグさんが起用されましたのでお知らせします。

12月上旬からテレビ、ラジオ、新聞広告に登場します。日本骨髄バンクは、このキャンペーンＣＭにあわせ、ポスター、リーフレットにも起用し、フグ選手は骨髄バンクの推進役として復活します。ポスターは２種類で、全国の郵便局、保健所などをはじめとした場所に貼り出される予定です。

フグさんは、極真空手からＫ－１に転身。足を頭より高く振り上げ、相手の上半身をかかとで蹴り落とす「カカト落とし」を得意技として活躍。１９９６年のＫ－１グランプリで優勝し、テレビのＣＭやバラエティ番組に出演するなど人気を得ていました。去る８月１９日に高熱のため運ばれた東京都内の病院で、急性骨髄性白血病（急性前骨髄球性白血病）と診断され、わずか５日後の８月２４日に死去されました。享年３５歳。

病床からファンの方々に対し「今度の敵は白血病。今までで一番の強敵。だが、必ず勝つ。元気になったら、同じ病気で苦しんでいる人を一人でも多く救いたい」と力強いメッセージを伝え、感動を呼びました。ポスターにはこのメッセージの一部が書かれています。今回の起用は、スイスにおられるご遺族とＫ－１事務所、テレビ局のご理解により、特別にテレビ映像、写真等の使用を許可していただき実現したものです。

１２月は国が定めた骨髄バンク推進月間です。当財団では１１月１６日に日本骨髄バンクを介した非血縁者間骨髄移植数が３０００例を突破したことを記念して、１２月３日（日）に「全国一斉街頭キャンペーン」を展開します。「願いは、ドナー登録３０万人！」の統一テーマのもと、全国の主要都市駅頭や繁華街などで、アンディ・フグのリーフレット配布とドナー登録の呼びかけをいたします。

東京では開催セレモニーを１０：００～１０：３０に「西武新宿ペペ公共広場」で行い、新宿、渋谷、千駄ヶ谷、錦糸町、吉祥寺、町田のＪＲ駅前でキャンペーンを行います。最近、低迷傾向にあるドナー登録の拡大を願っております。何卒、当日のご取材、ご報道のご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。